

名犬ハイツ 「『夏休みラジオ体操』の復活」

事業のきっかけ

名犬ハイツの町内会加入世帯数は184世帯で、60～70%が高齢者である。新しく転入してくるのは子どもがいる世帯だが、「町内会ってなにをするの?」と聞かれることが多い。

また、10年以上前に、子どもが減り、役員負担が大きくなったことから子ども会が解散したため、子どもと住民とのつながりがなくなってしまっていた。

子ども会を復活させる話を町内会で出してもいい反応はなかったが、一部の住民や高齢者からは、ラジオ体操や夏祭りを復活させてほしい、との要望が多くあり、今年度、ラジオ体操を企画し、開催した。これを機に、転入してきた世帯にも、町内会はこういうイベントをする、ということをつかってもらえると良いと思った。



■ 実施期間・場所

令和8年7月21日～31日 7時～7時半

■ 参加者（累計）

子ども 7人、大人 33人

■ 実施までに行ったこと

・ラジオ体操のチラシの回覧

■ 予算

- ・毎日のお菓子（10日間） 5,000円
- ・最終日の景品 20,000円
（ごみ袋、シャボン玉、ぬり絵、折り紙など）

参加者の声

・最近、集まる機会もなかったので、1年ぶりに会えて楽しかった。楽しかったので毎日でもやってほしい。

・毎日お菓子が配られるので、それでお茶を飲むのが楽しみだった。



伊藤町会長の声

朝が早いので、子どもの参加人数が少なかったですが、小学1年生の子は毎日参加してくれました。「ラジオ体操の時間だから行くよ!」と親を起こして来てくれていたようで、楽しみにしてくれていたことが嬉しかったです。

9月からは、毎月第1日曜日に実施する予定です。準備や当日の作業は、ほとんど1人でやっています。役員（18人）にLINEや役員会などで話していますが、当日手伝ってくれる人はいても、準備から来てくれる人は少ないので、そういう人を集めるのは課題です。

今後も続けて、来年はもっとたくさんの子どもの来てほしいと思っています。